■ファイバ・オプティクス標準化部会

概要

◆目的

本部会は、ファイバ・オプティクス標準化活動における全体の整合性及び方向性について精査・提言し、活動促進と効率化を目的としている。また、これと併行して、国内からの各種要望を国際標準化の場での議論に反映させる活動を行う。各標準化部会はJIS案を作成しているが、貿易上の障壁を減ずる観点からJISと国際標準との整合性が強く求められおり、日本の優れた新規開発技術を国際標準（IEC規格、ISO規格等）化することも、重要な課題である。

◆概要

2025年度、本部会は、JIS化及び国際標準化における問題点の改善・戦略提案について重点的に取り組んだ。また、団体規格（OITDA規格）及び技術資料（TP）の作成に資するように、2024年度に仮配布したマニュアル“OITDA規格及びOITDA_TPを国際提案する場合の規定”の修正案について議論した。翼下には企画調整専門部会を配し、標準化部会における横断的な課題について議論した。また、3件のプロジェクトからのリエゾン報告もいただいた。この他、来年度以降に活動を予定している3件のプロジェクト（2件の継続プロジェクト及び1件の新規提案プロジェクト）に関する進捗、およびフォーラム標準に対する当協会としての関わり方についても議論した。

部会開催予定(2026年度)

回	日程	曜	時間	会議形式	備考
第1回	2026/9/2	水	15:30～17:30	online	
第2回	2026/12/11	金	15:30～17:30	hybrid	

(順不同)

参加メンバ
ＮＴＴアドバンステクノロジ株式会社
ＮＴＴ株式会社
１Ｆｉｎｉｔｙ株式会社
名古屋工業大学
古河電気工業株式会社
株式会社白山
国立研究開発法人　情報通信研究機構
株式会社 日立製作所
東北工業大学
沖電気工業株式会社
東京大学
横河計測株式会社
桃山学院大学
一般財団法人日本規格協会
経済産業省